近畿・中国四国版

この版へのお知らせは
近畿支局
〒550−0004
大阪市西区靭本町1−13−13
（カワコシビル）
TEL 06(6443)0061㈹
FAX 06(6443)0062

日刊油業報知新聞の購読の申し込みはフリーダイヤル0120・66・9201でお願いします。

智頭石油アメリカ訪問記

最新ビジネスの現況視察

寛容な心が新ビジネス生む

米井氏

【鳥取＝智頭】智頭石油（鳥取県智頭町、米井哲郎社長、出光系）の米井林太郎石油部部長は最先端ビジネスの視察のため、二月にアメリカ西部を旅行した。「アメリカのエネルギーを肌で感じた」と振り返る。

◇

期間は二月一七日から二六日までの一〇日間。米井社長と平岡石油店（佐賀県唐津市、出光系）の平岡務社長が同行した。サンフランシスコ、ロサンゼルス、サンディエゴ、ダラスの順に周遊した。

左から米井氏、平岡氏、1人おいて米井哲郎氏（サンフランシスコで）

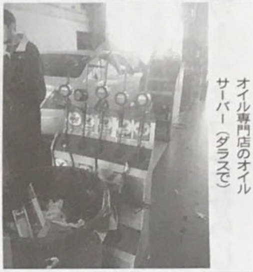
ジャングルのような装いの洗車機（ロサンゼルスで）

初めにUBERの本社を訪問した。一般ドライバーが自家用車を使って行うタクシーのようなサービスで、配車の予約から決済までをスマートホンのアプリでまかなう。

ドライバーにとっては働きたい時に働きたいだけ働けることから、副業として取り組む人が多い。乗客がドライバーを評価し、ドライバーも乗客を評価するシステムが導入され、悪質なドライバーや乗客を排除できるようにするなど適度な緊張感が保たれている。

実際に利用してみたが、車はすぐに来てくれた。とにかく便利。位置がたまにずれたり、ドライバーによってサービスが異なるなどのデメリットもあるが、それらを差し引いてもメリットの方が大きい。

同社は日本をことしの重点地域に位置付け、日本のタクシー会社数社と初期段階の交渉を進めている。利用者としたら日本でも利用可能にしてほしいが、運営者の視点からするとそれにかかわる仕組み作りが求められる。



オイル専門店のオイルサーバー（ダラスで）

ベンチャー企業「Turo」のカーシェアリングサービスを利用した。個人間の車の貸借をつなぐシステムで、車の保有者はTuroのウェブサイトで車のモデルや型式などの情報を入力する。利用希望者が条件に合った車を選択して契約は成立。

利用者が車庫で車両の写真を撮影し貸出人に送信すると、鍵は遠隔操作で解除される。車内のキーボックスに指定のパスワードを入力するとボックスが開き、鍵を取り出す。返却する時は車と周辺の写真を撮影し貸出人に送信。元の場所に鍵を返却し、貸出人が遠隔操作で鍵をかけて終了となる。

値段が安く、登録台数も多い。なかなか乗れない高級車も手ごろに乗ることができる。

一方、操作手順が複雑なので慣れるまでは大変。車によっては清潔感に欠ける。乗り捨てができないなどの問題点もある。ただ遊休資産をとことん活用する時代なので、今後新たなビジネスチャンスが発生するサービスと感じた。

旅行中の宿舎には、一般人が自宅などを宿泊施設として提供するインターネットサービス「Airbnb」を利用した。「Airbnb」は借りたい人と貸したい人をつなぐ役割を果たす。

眺望が良く、敷地内にプールを備えた豪邸に泊まった。何人でも泊まることができるので、複数で利用するならホテルより割安になるケースもある。何よりも足を踏み入れるまでのワクワク感がたまらなかった。

一方で鍵の受け渡しがスムーズにいかないこともある。部屋の給湯設備やエアコンが使えず、コンロで暖を取ったこともあった。

観光立国を目指している日本でもこのサービスが拡大する余地がある。当社でも地域の資産を活用した事業展開ができないものか検討したい。

カービジネスの現場も回った。二〇一五年のデータによると、アメリカの車両数は二億六四一九万台と、日本の七千七四〇万台に比べて母数がはるかに多い。したがってサービスもとことん分業化され、効率を最大化している。給油からカーケアまですべてをこなす日本のSSとはビジネスモデルが異なる。

オイルの販売店ではオイルを注ぐサーバーを設置していた。車両の中古パーツの販売店では、客が車から自由に部品を外して購入していた。

アメリカは広いので、地域差はもちろんあると思うが、日本に比べて自由度が高く、体裁を気にせず、新しい事柄や異文化を受け入れる土壌があると感じた。寛容な心が新しいビジネスを生むのだと思う。その反面すべて自己責任という厳しさもある。所得の格差も大きい。

アメリカで学んだことを生かし、当社でも油の残量を示すメーターやGPS通知アプリを活用した新たな配送システムの構築を図っている。残量把握と計画配送を最適化、効率化する仕組みだ。

有意義な行程を通じ大いに刺激を受けて帰国した。六月には中国を訪問したいと考えている。